

令和6年度9月期古賀市社会教育委員の会議 議事録

- 【 会議名称 】 令和6年度9月期古賀市社会教育委員の会議
- 【 日 時 】 令和6年9月25日（水） 18時30分～20時00分
- 【 場 所 】 リーパスプラザこが交流館 103洋室
- 【 主な議題 】 第9回生涯学習笑顔のつどいについて
- 【 出席委員 】 井浦議長、角森委員、石川委員、村山委員、砥上委員、橋爪委員、倉掛委員、丸井委員、山本委員（以上委員9名）
- 【 欠席委員 】 なし
- 【 事務局 】 生涯学習推進課長、職員2名
- 【 傍聴者数 】 0名

(配布資料)

- ・ レジюме
- ・ 資料1 笑顔のつどい協議について
- ・ 資料2 進行案
- ・ 笑顔のつどいスケジュールについて

議事録：笑顔のつどい発表内容

(井浦議長)

テーマについては、前回の会議で「公民館を子どもたちの第三の居場所にできないか」が候補になっている。インパクトがあり、サブテーマがなくてもいける。これで決定していいか。ご意見がありましたらお願いします。

(石川委員)

「次世代を担う子供たち」など、パット見て興味を持つようなものもいい。何か付け足したほうがもっと輝くと思う。公民館が楽しい場所だと教えたい。

(村山委員)

結局、子どもたちをどう育てたいのかが分かったほうがいい。子どもたちのどんな姿を目指しているのか、サブで見えたほうがいい。発表される3団体から見えてくる子どもの姿をテーマに入れるといい。

(倉掛委員)

「公民館を子どもたちの地域の居場所にした実践発表」はどうか。
「やってみた」「やってみよう」など、テーマにもっとリズムがあったほうがいい。

(井浦議長)

テーマは、短くても開催要項に趣旨を入れて、目的が分かるようにすればいいと思う。趣旨のほうは文章化を次回もっと固めていきたい。

テーマは「公民館を子どもたちの第三の居場所に」で固めていいか。

「子どもたちがやってきた！」は吹き出しでチラシに入れる。
発表内容について意見があればお願いします。

(村山委員)

発表内容の中に活動していることだけでなく、その目的まできちんと発表したほうがいい。

(井浦議長)

こんなきっかけがあったので、活動を始めたとしたほうがいい。テーマにつながるようになぜ公民館で始めたのか、内容に入れていただきたい。

(村山委員)

どうやってスタッフを集めたのか聞いてみたい。そう簡単には集まらないので、大変だったのではないかと思う。

(石川委員)

活動中、活動後の子どもたちの変化などを聞いたら、嬉しくなって、自分の地域でもやってみようという気になると思う。

(井浦議長)

子どもの姿の変化というよりは、そこで子どもたちがどんな表情で活動しているかを発表してもらえるといい。

(倉掛委員)

子どもの変化よりも実際は、失敗談のほうが数が多いと思う。

(砥上委員)

子どもたちの反応の変化や、やっていてよかったという良さが発表の中で出てくるといい。

(井浦議長)

項目を増やすのはいいと思うが、発表者は10分しかないので、必ず触れてほしい内容は、抑えてもらったほうがいいと思う。

(村山委員)

発表者が何を話したらいいか分からないということもあるので、きちんと話してほしい内容を伝えることは大切だと思う。

(井浦議長)

趣旨と発表内容については、近日中に私のほうでまとめて、事務局と打ち合わせをしたいと思う。

登壇者が2人なので、会場はステージを使用せず、2人掛けの机を3つ並べる。コーディネーターは端になる。発表者は2人で順番にするのか、あるいは、発表があったときに捕捉するのか。そのような形でいただきたい。

3団体ともパワーポイントで写真を流せそうか打ち合わせで確認をお願いします。

(村山委員)

グループ協議は、初めて会う人がスムーズに話し合いができるのか分からないので、時間をもう少し増やしたほうがいいのではないか。

(井浦議長)

グループ協議を増やすと終了が12時を過ぎてしまう。開会行事を10分以内で終わらせれば、協議時間を長くすることができる。質疑を5分にしているが、実際は、時間が読めないところがある。発表者が長く話される可能性もあるので、調整も必要になってくる。グループ協議の時は、グループがスムーズに作れるよう声掛けをする。

フリーでの質問にすると、質問される方だけのものになってしまう。せっかくなので、参加してくださる方も何か話をして、聞いた内容を持ち帰ってもらいたい。

(石川委員)

グループ協議では、それぞれのグループに委員が入るのでうまくまとめることができると思う。

(井浦議長)

全部のグループが話し合ったことを発表するのは難しいと思うので、3グループぐらいが発表できればと思う。グループの中でもおそらく意見が違うこともあり、まとまらないので発表できないグループもあると思う。

(倉掛委員)

実際聞いてみて、区長や分館長だったら、自分はやれるか考えるだろうし、若い人だったら、公民館を使ってこんなことをやってみたいというきっかけになればと思う。

(山本委員)

社会福祉協議会では、人を集めて話し合いをする際は、4つテーマがあって、自分たちがやろうとしたら何ができるか。そこから、どうすればできそうかを出していく。

今回の笑顔のつどいでは、古賀市内だけでなく、市外の方も来られると思うが、住んでいる地域によって、やっている内容や条件が違うので、その中で意見をまとめていくことが難しいと思う。

(倉掛委員)

発表形式は、1団体ずつ発表していくのではなく、質問をして、1団体ずつ答えていくほうが、しゃべり続けるよりもリラックスして話せるのではないかと思う。

(井浦議長)

1つずつの団体発表で完結させる良さと、質問形式の良さと両方あると思う。活動自体が違うので、どうつなげていくかという難しさもあると思う。

(角森委員)

今回は質問が同じなので、質問形式でコーディネーターにまとめてもらうこともできると思う。

(井浦議長)

では、団体への質問はまとめて投げかけるようにする。グループ協議では、公民館を子どもたちの居場所にできそうかに絞って行う。

では、当日の役割については、総合司会は丸井委員、コーディネーターは橋爪委員、他の委員の皆さんは、小グループの進行役をお願いします。